

おくすりのなぜ?なぜ?



わからないままのことってありませんか?

お薬によって1日1回、2回、3回があるのはどうして?

いつ飲むのがいいの?



もらったお薬はいつまで飲んでいいの?

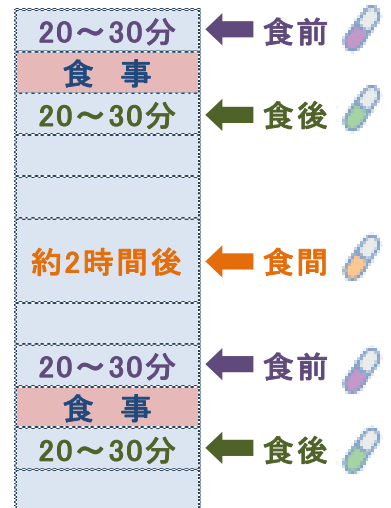
飲むタイミングを守りましょう

1日1回飲むことで1日中効果がつづくお薬が増えています。

しかし、1日に2回や3回飲むことが必要なお薬もあります。指示されたとおりに飲むことが大切です。

お食事のあと30分以内に飲むお薬が多いですが、**起床時**や**寝る前**、**食前**や**食間**に飲むように言われている場合は必ず守りましょう。

食前・食間・食後



もらった薬は、すぐに飲みはじめましょう

お薬にも有効期限があります。多くあまっている場合は、相談するようにしましょう。

わからない時は、おたずねください

薬剤師はお薬の専門家です。わからないことは何でも聞いてください。日頃、処方せんをお持ちになっている薬局も気軽に相談にのってくれます。

かかりつけ薬局があると安心です

医療機関を受診するときには、「お薬手帳」をお持ちください

薬剤科

たまなんミニ二通信をご希望の方は、患者支援センター地域連携部門までお問い合わせください

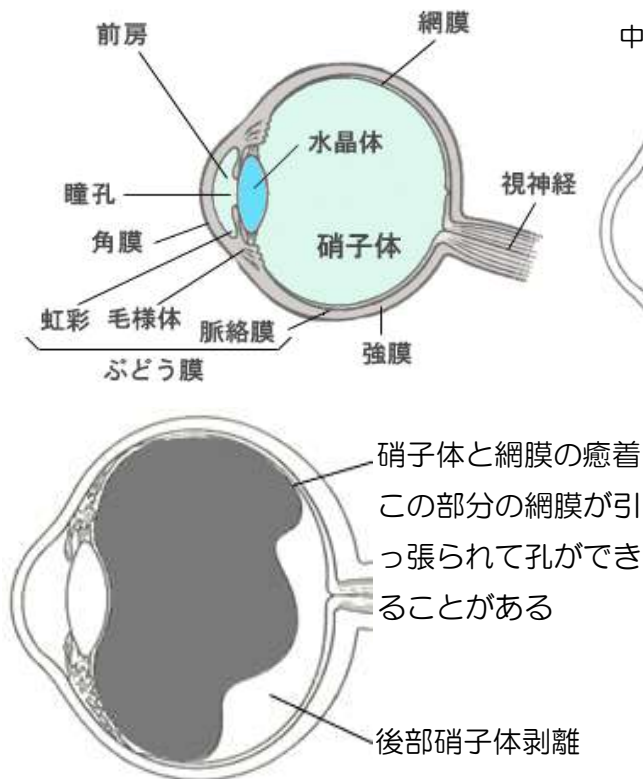
中高年の気になる症状 飛蚊症

いつの間にか目の前に糸くずや小さな虫などのようなものが浮いているのに気付いたことはありませんか。これを飛蚊症（ひぶんしょう）といいます。暗い場所ではわかりにくいですが白い壁や青空を背景にするとよくわかります。



飛蚊症の見え方のイメージ

眼球の断面図



中に液体がたまっている

飛蚊症は眼の中にある透明のゼリー状の硝子体に濁りが生じることで起きます。40歳過ぎたころから所々液化し、硝子体の繊維が飛蚊症として自覚されますが、多

くの場合治療を要しません。

更に加齢とともに硝子体の形が崩れてくると後部の網膜から剥がれ、後部硝子体剥離（左図）を起こします。近眼の場合比較的早くにおこりますが、一般的には60歳前半に生じるとされています。

もともと網膜と硝子体の後部はところどころで癒着があり、急な後部硝子体剥離の際に牽引され網膜裂孔（6～19%）や網膜硝子体出血を併発することがあります。また眼底の病気やブドウ膜炎などの病気でも飛蚊症が起きますので、気になる症状がある場合は、年齢的变化によるものか、病的なものなのか原因を調べるためにも早めに受診しましょう



目の病気に早く気付くためのワンポイントアドバイス

日頃、両眼で見ていると、片方が悪くなっても気付かないことがあります。時々、片眼を隠して右眼、左眼と見え方に差がないか確認しましょう。



☆当院は紹介予約制の医療機関のため、まずは、かかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。